

平成23年度営業概況

1. 業績等の概要

平成6年に当社が誕生して18年が経過した。この間、一貫して「役に立つ防災情報の提供」「エフエム新津ならではの地域情報の発信」を基本姿勢に魅力ある放送局づくりに力を注いできた。結果、徐々に「エフエム新津が好きだ」というリスナーが増加している。

一方、経営面に目を転じると、必ずしも順風満帆とは言い難く、草創期の累損が3分の1に減少したもののいまだ解消できないまま現在に至っている。とりわけ近年の長引く不況が累損解消の速度にブレーキをかけていることは確かであり、地域経済の浮沈と密接不可分の関係にある当社としては、一日も早い景気の回復を切望しているところである。

こうした中で迎えた18期は、東日本大震災、電力供給の制約、円高株安の進行、欧州における政不安など、国内外で発生した諸課題が地域にも暗い影を落とし、大変厳しい環境下での船出だったが、営業利益4,698千円(対前年度比199%増)、経常利益5,750千円(対前年度比15%増)となり、いずれも当初見込みを上回る収益を計上することができた。

しかしながらこれは、阿賀野市と新潟市から「緊急告知エフエムラジオ」の受注があったことが大きな要因となっている。従って、この一時的な収益をもって経営が好転したものではない。現に、一企業からの放送収入と制作収入は4%減少している。

よりいっそう知恵を絞った戦略が必要である。

2. 収支決算(H23.4.1～H24.3.31)

科 目	決 算 額 単位:円(消費税込)
事業収入	66,140,659
事業支出	60,390,236
①番組費	17,291,147
②技術費	4,088,258
③販売費	6,582,417
④人件費	24,738,103
⑤管理費	7,690,311
法人税	1,017,940
当期損益	4,732,483
累計損益	▲15,325,732